

令和8年度子ども農山漁村交流プロジェクトセミナー

オンライン開催/参加無料

農山漁村の資源・課題×探究的な学習×**現地交流**から**生きる力の育成**と**関係人口の創出・拡大**へ



開催日時

令和8年11月26日(木)13:10～15:20(2時間10分)

参加方法

オンライン開催( YouTube配信)

※“複数の方”と一緒に視聴いただいても構いません。

参加対象

子ども農山漁村交流にご関心のある方、送り側・受入側に関わっている方

どなたでも参加いただけます(人数制限なし)

【特別講演】 AIでは辿り着けない“現地で学ぶ探究”へ

～行事を探究へ転換する自治体連携×職場体験×観光大使の挑戦～

東海村教育委員会 指導室 指導主事 石川 友康 氏(茨城県東海村)

【事例発表1】 熱い大人との出会いが、いつか”帰ってくる理由”になる

(受入側)

～子ども・学校・受入側が全員Winになる地域探究の後方支援～

アーストラベル水戸(株) 代表取締役 尾崎 精彦 氏(茨城県水戸市)

【事例発表2】 農山漁村の資源・魅力を活用した「地域交流・探究型旅行モデルプラン」の企画・実証・公開に向けて

(送り側)

～日本の地域の将来を子供たちと共に考えるきっかけづくり～

武蔵高等学校中学校 副校長/地域探究旅行研究会 代表

加藤 十握 氏(東京都練馬区)

その他、「国による関連施策」、登壇者が事前のご質問にお答えする「対話の時間」など

※「特別講演・事例発表」の登者及び取組内容等については裏面で紹介しています。

お申込方法

“Webフォーム(QRコードまたはURL)”からお申込みください。

URL <https://forms.cloud.microsoft/r/tYjafC79xM>

参加申込締切日: 令和8年11月18日(水)



お問合せ先

(一財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう) ※本業務の請負業者

連絡先 kodomo@kouryu.or.jp (担当:花垣・長谷川)

主催:総務省・内閣官房・文部科学省・農林水産省・環境省

【特別講演】



AIでは辿り着けない“現地で学ぶ探究”へ

～行事を探究へ転換する自治体連携×職場体験×観光大使の挑戦～

いし かわ とも やす

東海村教育委員会 指導室 指導主事 石川 友康氏（茨城県東海村）

前任の東海村立東海南中学校にて、職場体験を含めた行事を「3年間の系統的な地域探究学習」へ転換。生徒自身による行き先の「自己選択・自己決定」、他地域での観光大使活動や職場体験、web(note)での発信を通じ、AI時代に欠かせない「現地で学ぶ探究（一次情報の獲得）」と当事者意識を育む仕組みを構築しました。

現在は学校・行政・受入団体の連携のもと、地域の中で子どもを育てる持続可能な取り組みへと発展しています。

【参考：本活動の紹介（動画）】  「職場体験×地域探究 校外学習」で検索

【事例発表1（受入側）】



熱い大人との出会いが、いつか”帰ってくる理由”になる

～子ども・学校・受入側が全員Winになる地域探究の後方支援～

お ざ き き よ ひ こ

アーストラベル水戸(株) 代表取締役 尾崎 精彦氏（茨城県水戸市）

当社は、地域で働く人や農林漁業などの第一次産業から研究機関・先端分野まで、茨城県ならではの産業の現場を学びの機会として再編集し、学校ごとの教育方針や目的に応じたプログラムを設計・提供しています。

今回は特別講演で紹介された「東海村立東海南中学校の活動」で行った支援策について紹介します。

【教育旅行事業の実績概要（2025年度）】

■導入校数：茨城県内55校、首都圏10校 ■参加者数：延べ13,100名（小学生～高校生）

■連携地域：35市町村（県内44市町村中） ■連携事業所数：200以上の事業所

【事例発表2（送り側）】



農山漁村の資源・魅力を活用した

「地域交流・探究型旅行モデルプラン」の企画・実証・公開に向けて

～日本の地域の将来を子供たちと共に考えるきっかけづくり～

か と う と つ か

武蔵高等学校中学校 副校長／地域探究旅行研究会 代表 加藤 十握氏（東京都練馬区）

人口減少が見込まれる我が国の将来を担う子供達が「命を支えている一次産業や農山漁村の将来」について関心を持っていけるように、複数の農山漁村地域で「地域交流・探究型旅行モデルプラン（以降、「モデルプラン」）を策定し、首都圏の中高生（「所属校以外の生徒」を含む）を対象にしたツアーを企画・実証しています。

今後、より多くの学校・社会教育団体及び受入地域団体、旅行会社等がモデルプランを参考にしていただけのように、自ら企画したモデルプランの他に、他校や受入地域等が策定したモデルプランを参集して、ネット等で公開していくことを計画しています。